



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 中央倉庫

上場取引所 東

コード番号 9319

URL <http://www.chuosoko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 湯浅 康平

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画管理本部長

(氏名) 山田 栄作

TEL 075-313-6151

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	17,507	2.9	856	△16.4	964	△14.5	589	△6.5
25年3月期第3四半期	17,016	2.3	1,024	7.8	1,127	8.7	630	5.6

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 1,089百万円 (40.4%) 25年3月期第3四半期 775百万円 (141.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	31.01	—
25年3月期第3四半期	34.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	40,588		33,343			81.8
25年3月期	39,915		32,702			81.6

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 33,195百万円 25年3月期 32,558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	13.50	23.50
26年3月期	—	10.00	—		
26年3月期(予想)				12.50	22.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期期末配当13円50銭には、大阪証券取引所市場第一部上場記念配当1円00銭を含んでおります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,900	2.2	1,400	5.8	1,480	3.1	855	2.5	44.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	19,064,897 株	25年3月期	19,064,897 株
26年3月期3Q	40,991 株	25年3月期	40,688 株
26年3月期3Q	19,024,014 株	25年3月期3Q	18,092,705 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府と日銀による経済・金融政策の効果などから円安・株価上昇の状況が進み、企業収益や個人消費の改善が見られ、緩やかながら回復基調が続きました。一方、海外におきましては、米国経済は好調であるもののアジア経済圏の成長ペースは鈍化しつつあります。加えて、円安による輸入原材料・製品価格の上昇や消費増税といった懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況となりました。

物流業界におきましては、国内貨物の保管残高、輸送量ともに増加傾向にあり、国際貨物につきましても、輸入・輸出貨物ともに増加しておりますが、一方、消費増税後の反動による物流量低下の懸念もあり、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、ソリューション営業力の強化に努め一貫物流への取り組みを積極的に進めるとともに、顧客ニーズへの対応と業務の効率化を図るため既存設備の改修を進めており、平成25年10月に京都支店城南営業所A号倉庫が完成・稼働したのに引き続いて、平成25年12月に京都支店城南営業所改築第2期工事に着手しました。また、さらなる業務の品質向上を図るとともに、環境に配慮したグリーン経営の推進にも取り組み、経営の効率化に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は17,507百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は保管料等の倉庫収入の減少と営業原価の増加等の影響により856百万円（前年同期比16.4%減）となり、経常利益は964百万円（前年同期比14.5%減）、四半期純利益は589百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

(セグメント別の概況)

① 倉庫業

倉庫業におきましては、出庫高はほぼ横ばいとなったものの、入庫高及び保管残高は前年同期に比し減少しました。これらの結果、倉庫業の営業収益は4,013百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は保管料等の減少と動力光熱費や人件費等の増加があり399百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

② 運送業

運送業におきましては、取扱数量は保管外貨物の取扱いに注力し前年同期に比し増加しましたが、保管貨物の入出庫高は停滞しました。これらの結果、運送業の営業収益は9,124百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は運送費や燃料費及び人件費等の増加があり603百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

③ 国際貨物取扱業

国際貨物取扱業におきましては、通関業の取扱数量は輸入・輸出ともに堅調に推移し、梱包業の取扱数量も、輸出貨物の取扱高の増加に伴い増加しました。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は4,424百万円（前年同期比6.5%増）、セグメント利益は265百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ673百万円増の40,588百万円となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が375百万円、固定資産の建設仮勘定が334百万円減少しましたが、固定資産の建物及び構築物が556百万円、投資有価証券が804百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ32百万円増の7,244百万円となりました。これは主に、流動負債の未払法人税等が341百万円、賞与引当金が146百万円、その他に含まれております未払金が436百万円減少しましたが、流動負債のその他に含まれております設備関係支払手形が345百万円、固定負債の長期借入金が338百万円、繰延税金負債が232百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ641百万円増の33,343百万円となりました。これは主に、利益剰余金が142百万円、その他有価証券評価差額金が488百万円増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント増の81.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結業績は、営業収益におきましては予想を上回っているものの、営業原価の増加等により、営業利益・経常利益・当期純利益では予想を下回って推移しておりますが、平成25年10月末に完成・稼働した京都支店城南営業所A号倉庫の寄与と営業原価の削減等に努めることにより、現時点においては、平成25年5月10日発表の業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,989,314	6,613,761
受取手形及び営業未収入金	3,317,832	3,324,850
貯蔵品	6,412	7,815
繰延税金資産	142,372	47,761
その他	522,653	541,812
貸倒引当金	△3,316	△2,064
流動資産合計	10,975,268	10,533,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,281,034	11,837,999
機械装置及び運搬具（純額）	684,534	764,682
土地	9,604,077	9,604,077
リース資産（純額）	36,807	34,758
建設仮勘定	415,800	81,766
その他（純額）	173,245	172,700
有形固定資産合計	22,195,498	22,495,985
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	6,407,729	7,212,267
その他	310,249	315,918
貸倒引当金	△10,405	△2,916
投資その他の資産合計	6,707,573	7,525,269
固定資産合計	28,939,772	30,054,730
資産合計	39,915,041	40,588,666

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,201,476	1,151,204
短期借入金	3,110,000	3,110,000
1年内返済予定の長期借入金	345,600	408,100
リース債務	15,137	11,826
未払法人税等	356,242	14,351
賞与引当金	241,397	95,344
役員賞与引当金	18,600	10,700
その他	879,262	831,231
流動負債合計	6,167,715	5,632,756
固定負債		
長期借入金	223,000	561,000
リース債務	23,510	24,669
繰延税金負債	593,741	826,053
退職給付引当金	95,653	105,144
その他	109,046	95,236
固定負債合計	1,044,953	1,612,104
負債合計	7,212,668	7,244,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	26,368,930	26,511,745
自己株式	△35,194	△35,454
株主資本合計	31,331,837	31,474,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,230,124	1,718,707
為替換算調整勘定	△3,167	2,399
その他の包括利益累計額合計	1,226,957	1,721,107
少数株主持分	143,577	148,305
純資産合計	32,702,372	33,343,804
負債純資産合計	39,915,041	40,588,666

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業収益	17,016,132	17,507,329
営業原価	15,530,040	16,214,775
営業総利益	1,486,091	1,292,554
販売費及び一般管理費	461,879	435,828
営業利益	1,024,212	856,725
営業外収益		
受取利息	535	537
受取配当金	97,995	102,991
社宅使用料	8,369	8,634
持分法による投資利益	14,624	16,358
その他	29,081	18,643
営業外収益合計	150,606	147,166
営業外費用		
支払利息	35,020	33,981
その他	12,142	5,506
営業外費用合計	47,163	39,487
経常利益	1,127,655	964,404
特別利益		
固定資産売却益	6,137	14,504
特別利益合計	6,137	14,504
特別損失		
固定資産除却損	78,226	20,551
固定資産売却損	68	191
投資有価証券評価損	15,506	—
その他	1,937	—
特別損失合計	95,738	20,743
税金等調整前四半期純利益	1,038,055	958,165
法人税、住民税及び事業税	371,834	292,991
法人税等調整額	27,814	70,806
法人税等合計	399,649	363,797
少数株主損益調整前四半期純利益	638,406	594,367
少数株主利益	7,442	4,486
四半期純利益	630,963	589,881

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	638,406	594,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	137,507	489,580
持分法適用会社に対する持分相当額	32	5,566
その他の包括利益合計	137,539	495,147
四半期包括利益	775,945	1,089,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	768,407	1,084,031
少数株主に係る四半期包括利益	7,537	5,483

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (千円)
	倉庫業 (千円)	運送業 (千円)	国際貨物 取扱業 (千円)	計 (千円)		
営業収益						
外部顧客への営業収益	4,048,549	8,814,211	4,153,370	17,016,132	—	17,016,132
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	26,399	24,188	—	50,587	△50,587	—
計	4,074,949	8,838,400	4,153,370	17,066,720	△50,587	17,016,132
セグメント利益	547,461	653,560	258,949	1,459,971	△435,759	1,024,212

(注) 1. セグメント利益の調整額△435,759千円には、セグメント間取引消去24千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△435,783千円が含まれております。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (千円)
	倉庫業 (千円)	運送業 (千円)	国際貨物 取扱業 (千円)	計 (千円)		
営業収益						
外部顧客への営業収益	3,990,566	9,092,306	4,424,457	17,507,329	—	17,507,329
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	23,092	31,960	—	55,052	△55,052	—
計	4,013,659	9,124,266	4,424,457	17,562,382	△55,052	17,507,329
セグメント利益	399,112	603,170	265,218	1,267,501	△410,775	856,725

(注) 1. セグメント利益の調整額△410,775千円には、セグメント間取引消去12千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△410,787千円が含まれております。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。